



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ピエトロ
 コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 池田 邦雄
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 092-724-4927

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,215	△2.0	496	3.5	494	4.2	243	△3.1
26年3月期第3四半期	7,363	△0.9	479	13.6	474	15.4	251	24.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 243百万円 (△4.8%) 26年3月期第3四半期 255百万円 (26.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	43.62	—
26年3月期第3四半期	45.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	
27年3月期第3四半期	7,790		3,534	45.4	632.11			
26年3月期	7,439		3,397	45.7	607.65			

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,534百万円 26年3月期 3,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	9.4	560	2.8	540	1.5	250	4.5	44.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	5,591,630 株	26年3月期	5,591,630 株
27年3月期3Q	497 株	26年3月期	497 株
27年3月期3Q	5,591,133 株	26年3月期3Q	5,591,133 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動による影響が長引き、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましても、消費税増税により消費者の節約志向が高まるとともに、円安などにより仕入コストが上昇傾向にあるなど、厳しい環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」にこだわった付加価値の高い商品やサービスのご提供をとおして、ブランド価値向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、72億15百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

利益面につきましては、製造原価の低減及び販管費の節減に努めたことから、営業利益は4億96百万円（前年同期比3.5%増）、経常利益は4億94百万円（前年同期比4.2%増）、四半期純利益は2億43百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、「通信販売事業」については、「食品事業」のセグメントに含めることにいたしました。

以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

①食品事業

「野菜嫌いをなおそう」をテーマに、テレビCMと連動した店頭キャンペーンを実施するなど、きめ細かな営業活動を展開してまいりました。

商品別では、主力ドレッシングが堅調な伸びを示すとともに、中でも、カロリーを抑えたドレッシングやパスタソースが順調に売り上げを伸ばしました。また、ヘルシーで豊かな味わいの「オリーブオイル・ドレッシング・シリーズ」と、玉ねぎのおいしさをさらに加えた「生搾りドレッシング・シリーズ」の定着化を図ってまいりました。

さらに平成26年9月には、ドレッシングとスパドレの新商品を投入し、売り場拡大を図っております。

通信販売限定商品につきましては、健康への意識の高いお客様へ向けて、低カロリーで塩分を抑えた「PIETRO Kenkou」シリーズを新たに開発し、パスタ5品を発売いたしました。

また、当社は平成27年12月に創業35周年を迎えることから、「食育活動」を中心とした記念事業を平成26年12月から順次実施しております。

以上のことから、売上高は51億57百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益は17億4百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

②レストラン事業

グランドメニューにつきましては、平成26年4月に一部改定するとともに、同年12月には全面改定を行い、メニューの充実を図りました。特に、健康志向のお客様に向けた「YASA I（野菜）」メニューを充実させ、野菜の味わい、香り、食感、彩りを楽しんでいただけるピエトロならではのヘルシーメニューとしてご提供しております。

また、恒例の季節のメニューとして、「冷製パスタフェア」、「カルボナーラフェア」などを実施し、ご好評をいただいております。

店舗展開につきましては、平成26年4月に「筑紫通り店」を新規オープン、同年5月には「ソラリア店」をリニューアルオープンするなど、立地に応じた魅力ある店舗づくりを行ってまいりました。

また、平成26年9月には、プレミアムドレッシングなど新たに開発した高付加価値商品を取り扱う、新業態「PIETRO DRESSING 岩田屋店」を、百貨店の食料品フロアにオープンいたしました。

以上のとおりサービスの向上を図ってまいりましたが、店舗数の減少などにより、売上高は19億46百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント損失は57百万円（前年同期は1百万円のセグメント損失）となりました。

③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、ほぼ計画通りに推移し、売上高は1億10百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は51百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億50百万円増加し、77億90百万円となりました。これは主に売掛金が3億88百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ2億13百万円増加し、42億56百万円となりました。これは主に買掛金が1億44百万円、未払金が1億32百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ1億36百万円増加し、35億34百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億6百万円及び四半期純利益2億43百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、円安による原材料価格やエネルギーコストの上昇など、予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社グループは、「おいしさと健康」を意識した商品のご提供をとおして、お客様満足度のさらなる向上に努めてまいります。

なお、平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,025,778	1,039,156
預け金	43,685	57,295
売掛金	1,176,746	1,565,439
商品及び製品	90,973	87,427
仕掛品	3,149	3,354
原材料及び貯蔵品	112,338	136,845
繰延税金資産	33,821	17,687
その他	104,162	144,852
貸倒引当金	△749	△879
流動資産合計	2,589,906	3,051,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,444,913	1,443,353
土地	2,006,202	2,006,202
その他(純額)	222,322	222,933
有形固定資産合計	3,673,438	3,672,490
無形固定資産	65,232	55,980
投資その他の資産		
敷金及び保証金	454,659	430,786
保険積立金	389,199	428,503
その他	286,637	170,608
貸倒引当金	△19,409	△19,262
投資その他の資産合計	1,111,087	1,010,635
固定資産合計	4,849,759	4,739,106
資産合計	7,439,666	7,790,286
負債の部		
流動負債		
買掛金	416,227	560,227
短期借入金	1,250,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	118,160	305,000
未払金	348,500	480,863
未払法人税等	185,167	101,365
賞与引当金	46,439	25,518
その他	238,725	325,175
流動負債合計	2,603,219	3,048,150
固定負債		
長期借入金	545,832	270,416
役員退職慰労引当金	565,384	628,767
退職給付に係る負債	65,737	58,309
資産除去債務	47,996	55,940
その他	214,051	194,477
固定負債合計	1,439,001	1,207,910
負債合計	4,042,221	4,256,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,390,668	2,528,309
自己株式	△449	△449
株主資本合計	3,381,541	3,519,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,494	17,210
為替換算調整勘定	409	△2,166
その他の包括利益累計額合計	15,904	15,043
純資産合計	3,397,445	3,534,225
負債純資産合計	7,439,666	7,790,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,363,311	7,215,083
売上原価	3,050,051	2,912,244
売上総利益	4,313,260	4,302,838
販売費及び一般管理費	3,833,709	3,806,443
営業利益	479,550	496,395
営業外収益		
受取利息	122	233
受取配当金	783	778
為替差益	6,868	7,994
その他	2,033	2,971
営業外収益合計	9,808	11,978
営業外費用		
支払利息	9,984	8,959
シンジケートローン手数料	4,758	4,642
その他	98	132
営業外費用合計	14,841	13,735
経常利益	474,517	494,637
特別利益		
固定資産売却益	4,983	1,207
特別利益合計	4,983	1,207
特別損失		
固定資産除却損	3,022	3,701
減損損失	44,051	9,571
特別損失合計	47,073	13,273
税金等調整前四半期純利益	432,427	482,572
法人税、住民税及び事業税	215,118	207,828
法人税等調整額	△34,362	30,872
法人税等合計	180,756	238,700
少数株主損益調整前四半期純利益	251,670	243,872
少数株主損失(△)	△6	—
四半期純利益	251,676	243,872

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	251,670	243,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,004	1,715
為替換算調整勘定	△339	△2,575
その他の包括利益合計	3,665	△860
四半期包括利益	255,335	243,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	255,340	243,011
少数株主に係る四半期包括利益	△5	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,188,894	2,058,899	115,517	7,363,311	—	7,363,311
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,462	1,462	△1,462	—
計	5,188,894	2,058,899	116,979	7,364,773	△1,462	7,363,311
セグメント利益 又は損失(△)	1,584,347	△1,636	58,495	1,641,205	△1,161,654	479,550

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,161,654千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては44,051千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸) 事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,157,248	1,946,837	110,997	7,215,083	—	7,215,083
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,462	1,462	△1,462	—
計	5,157,248	1,946,837	112,459	7,216,545	△1,462	7,215,083
セグメント利益 又は損失(△)	1,704,376	△57,637	51,857	1,698,595	△1,202,200	496,395

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,202,200千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「通信販売事業」につきましては、量的な重要性が乏しくなったため、取扱製品が概ね類似する「食品事業」に含めることにいたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては9,571千円であります。